

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「人をつくる」ことに基づく教育を実践することにより、人間的な成長を実現し人格の形成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において、きめ細かい指導を行い、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、自立にむけて必要とされる基盤を育成する。
- 3 生徒の個性を開花させるため、学校行事や部活動への積極的参加を促し、集団として他者への思いやりをもって協働し、試行錯誤の中から問題の発見・解決できる力を育成する。

2 中期的目標

【1】建学の精神に基づく教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

(1) 私学の独自性

- ア. 建学の精神「報恩感謝」・教育理念「人をつくる」ことを教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。
 - イ. 入学式・卒業式・全体集会などの取り組みを通じて、建学の精神や教育理念について生徒の理解を深める。
 - ウ. 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に基づき、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。
- ※教員の評価アンケートにおける「建学の精神の理解」（平成29年度 4.5）は目標値に達している。これを平成30年度まで維持する。

(2) 生徒のニーズに対応したコース制

- ア. 生徒の多様なニーズに対応し、英数・英数発展・6年一貫の3つのコース制を設ける。また、授業評価によりPDCAサイクルを確立させ教育活動を行う。
 - イ. 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
 - ウ. 英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。
 - エ. 6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。
- ※生徒評価アンケートにおける「コース満足度」（平成29年度 3.9）を目標値に近づけるよう努力し、平成30年度には4.2にする。

(3) 進路指導

- ア. 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するための進路ガイダンスを行う。
 - イ. 個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。
- ※生徒評価アンケートにおける「進路面接等の満足度」（平成29年度 3.8）は目標値より下降した。これを平成30年度目標値4.0にする。

【2】学習面において、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

(1) 教科指導

- ア. 各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組む。
 - イ. 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。
 - ウ. 基礎学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。
- ※生徒・保護者の評価アンケートにおける「学力向上の意欲」（平成29年度 生徒3.6 保護者3.7）を平成30年度にはどちらも4.0以上にする。

(2) 人権教育

- ア. 生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行う。その中で「心のバリアフリー」推進の動向をふまえ、障がいの有無にかかわらず、多様性を尊重する障害者理解を推進し、人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して指導する。
 - イ. いじめ等を未然に防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施するなど生徒との接点を密にする努力を行う。
 - ウ. 学年毎にテーマを決め人権教育を行う。
 - エ. 12月の人権週間には人権講演を実施する。
- ※生徒・保護者の評価アンケートにおける「学校のいじめの対応満足度」（平成29年度 生徒3.6 保護者3.7）を平成30年度にはどちらも4.0以上にする。

【3】基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事や部活動を通じて豊かな人格形成を行う。

(1) 生活指導

- ア. 個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養うように指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。
 - イ. 挨拶運動・シェアシート運動等を実施し、基本的なマナーの実践に努める。
- ※生徒・保護者の評価アンケートにおける「教員の規則を守らせる指導」（平成29年度 生徒4.1 保護者4.1）は平成30年度にはどちらも4.2以上にする。

(2) 危機管理と情報公開

- 生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。
- ア. 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を日頃からもち、危機管理マニュアルを作成し安全・安心な学校をめざす。また、災害に備え備蓄品を整える。
 - イ. 情報モラル講演会などにより、スマートフォンなどの情報機器の正しい使用法を習得させる。
 - ウ. 学校ホームページ等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。
- ※教員自己評価アンケートにおける「学校安全対策」（平成29年度 4.4）であり、昨年度より0.3ポイント上昇した。平成30年度まで維持する。
※保護者評価アンケートにおける「学校の情報公開」（平成29年度 保護者4.0）であり、創意工夫を重ねて平成30年度には4.2とする。

(3) 学校行事や部活動

- ア. 社会性や協調性の育成のため、クラブ活動を奨励する。
 - イ. 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させる。
- ※クラブ活動については4.0、行事が人間的に成長させているが4.3と高評価である。次年度もこれを維持する。

(4) 課題を抱えている生徒への支援

- ア. 生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。
 - イ. 保護者、ICP（臨床心理研究所）と連携し、生徒の問題解決に支援を行う。
- ※生徒評価アンケートにおける「個人面談等の満足度」（平成29年度 3.7）を毎年少しずつ上げ、平成30年度には4.0を超える。

【4】保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献

- ア. 保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会とも連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。
 - イ. 復興支援やボランティア活動等で地域に協力する。
- ※保護者評価アンケートにおける「PTA活動の満足度」（平成29年度 4.0）と目標値に達した、平成30年度も4.0にする。
※生徒評価アンケートにおける「生徒会活動の満足度」（平成29年度 4.1）であり、平成30年度まで維持する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔平成30年度〕平成30年12月実施予定	学校協議会からの意見
評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う 評価方法：各項目について、5段階評価で行う 5：大変そう思う 4：どちらかといえば思う 3：普通 2：あまり思わない 1：全く思わない	<input type="radio"/> 学校経営計画について
<input type="radio"/> 全体評価	<input type="radio"/> 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価

○学習指導等 ・ ○生徒指導等 ・ ○学校運営 【分析】 学校目標	○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価 ○ 結果
---	---------------------------------------

3 本年度の取組内容及び自己評価
平成30年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性	(1) 私学の独自性	ア. 職員研修などを通じて、建学の精神・教育理念などを理解・実践する。 イ. 入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話し、理解を深める。 ウ. 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。	ア. 私学であるため教員による建学の精神及び教育理念の理解及び実践が4.3である。 イ. 諸式を通じて校長講話の中で建学の精神や教育理念等の内容をわかりやすく説明する。(平成29年度4.5) ウ. 生徒指導部の月間目標に教育方針の内容を取り入れ、生徒に啓発を行う。	
	(2) 生徒のニーズに対応したコース制	ア. 授業評価を検証し、改善点を見出し、生徒にとってより良い指導を行う。 イ. 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ウ. 英数発展コースは、夏期講習や3年の土曜日午後の授業で応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。 エ. 6年一貫コースは、総合的な学習の一貫である「自分プロジェクト」で自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。	ア. 平成30年度より教員評価を行う。 それぞれのコースの特徴を理解し、コースの取組に満足しているかの設問に対し、 イ. (平成29年度 生徒3.9 保護者4.0) ウ. (平成29年度 生徒4.1 保護者4.5) エ. (平成29年度 生徒3.7 保護者4.1) 全コースの平均 平成29年度 3.9である。	
	(3) 進路指導	ア. 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するため、3年時2回の進路ガイダンスを行う。 イ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、3年の1学期より希望調査をとり、進路相談や進路支援を行う。	ア. 生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンス(平成29年度4.6)を行う。 イ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっている 29年度は3.8と0.4ポイント下降し、目標値を下回った、4.2以上を目指す。	

<p>2 学習面において、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくり</p>	<p>(1) 教科指導</p> <p>(2) 人権教育</p>	<p>ア. 各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組む。</p> <p>イ. 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。</p> <p>ウ. 学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。</p> <p>ア. 「心のバリアフリー」の観点から、障害者理解を深めつつ、人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。</p> <p>イ. いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てる。</p> <p>ウ. 障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。</p> <p>エ. 12月の人権週間には中学校行事として、人権講演を実施する。</p>	<p>ア. 教員によるシラバスに沿った指導は高評価であるが、グループ学習の取り入れについては進行中なので、まだ評価が低い、目標を4.3にする。(平成29年度4.1)</p> <p>イ. 教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開の目標値を4.5にし、(平成29年度4.4)生徒・保護者による授業は分かりやすいか。(平成29年度 生徒3.8 保護者3.9)との開きが大きい、生徒保護者の目標値を4.2以上に設定する。</p> <p>ウ. 教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行っている。(平成29年度4.1)生徒・保護者による学校の学力向上への努力の数値が一致しているが(平成29年度 生徒3.9 保護者4.0)それぞれ4.3以上を目標としたい。生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲が低く(平成29年度 生徒3.6 保護者3.7)4.0を目標とする。</p> <p>ア. 教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践しており(平成29年度4.5)昨年より0.4ポイント上昇した。</p> <p>イ. 生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か(平成29年度 生徒3.7 保護者3.9)と低い、目標は4.0以上と設定する。</p> <p>ウ. 教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。この項目については0.1ポイント上昇した。(平成29年度4.4)</p> <p>エ. 人権講演や道徳的な行事については(平成29年度 生徒4.2 保護者4.0)保護者の満足度も上昇し、現在の人権教育を進めたい。</p>	
<p>3 基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事や部活動を通じて豊かな人格形成を行う。</p>	<p>(1) 生活指導</p> <p>(2) 危機管理と情報公開</p> <p>(3) 学校行事や部活動</p> <p>(4) 課題を抱えている生徒への支援</p>	<p>ア. 個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。</p> <p>イ. 重点を置いた指導として、生徒指導部が中心となり、挨拶運動・シェアザシート運動を実施する。</p> <p>ア. 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。また、災害に備えて備蓄品を整える。</p> <p>イ. 情報モラル講演会などにより、スマートフォンなどの情報機器の正しい使用法を習得させる。</p> <p>ウ. 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。</p> <p>ア. 社会性や協調性の育成のため、クラブ活動を奨励する。</p> <p>イ. 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させる。</p> <p>ア. 生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。</p> <p>イ. 問題解決の部署としてICP(臨床心理研究所)の存在の明確化をするとともに、相談しやすい環境づくりに努める。</p>	<p>ア. 教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじる目標は4.5以上(平成29年度4.5)であったが、生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導(平成29年度 生徒4.1 保護者4.1)差0.5を縮めることを目標とする。</p> <p>イ. (平成29年度 生徒3.7 保護者3.9)と昨年と同ポイントだが評価は低い。生徒会を中心に積極的に挨拶運動を行い、学校月間目標により、さらに啓発を行う。</p> <p>ア. 安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備(平成29年度4.4)、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策(平成29年度4.4)はどちらも昨年より0.3ポイント上昇し4.5以上の目標に近づいている。</p> <p>ウ. 情報公開については、満足度が低く、(平成29年度 生徒3.8 保護者4.0)4.2以上を目指す。</p> <p>ア. 説明会やガイダンスなどで、クラブ活動の参加を奨励する。(平成29年度 生徒4.0 保護者3.9)</p> <p>イ. 多彩な行事の中で、協調性を持ちながら主体的に行動できる生徒を育てる。(平成29年度 生徒4.3 保護者4.4)</p> <p>ア. 日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっている。(平成29年度4.4)</p> <p>イ. 生徒の個人面談等の満足度は低い。(平成29年度 生徒3.7)両方とも4.2以上を目標とする。</p>	

<p>4 保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動に協力する。</p>	<p>ア. 保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの活動を支援する。 イ. 復興支援やボランティア活動等で地域に協力する。</p>	<p>ア. 保護者から見るPTA活動は(平成29年度 保護者 4.0)目標値レベルである イ. 生徒から見る生徒会活動は(平成 29 年度 生徒 4.1)と目標値 4.0 を超えた。</p>	
-----------------------------------	---	---	--	--